

2019 年度（対象年度：2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	産業経済研究所
--------	---------

基準 11 大学独自の評価項目

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
1110	研究組織において、計画的に研究活動を推進していますか。	(1) 研究組織（研究所、研究系センター等）において、設置目的に沿った研究推進を計画的に進めていますか。 ・年度重点目標の設定	B
1120	管理運営組織および教育研究組織において、継続的に業務内容の点検を行っていますか。	(2) 委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

<p>現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。</p> <p>【1110】 (1) 中部大学産業経済研究所は、国際化、情報化、技術革新等に伴って生ずる経済、産業、企業経営の環境・構造変化等の調査・研究を行うことを目的[1110a]としている。 この目的を達成するため、(1)総合研究（プロジェクト等）「日本経済・企業復興のための経済・経営・情報理論探求」を推進、(2)対外発信力の一層の強化(定期刊行物以外の適時刊行物出版、適時の研究発表会、Web サイトを活用した情報発信、中部大学フェア参加等)、刊行物の有効利用(企業・自治体からの配布要請、メディアへの提供)、(3)情報処理技術に関する研究活動への強力な支援、(4)講演会・研究発表会・地域と地方行政への積極的支援による社会貢献(「春日井商工会議所経営発達支援計画評価委員会」への参画等)を事業計画[1110b]としている。 事業計画に対する成果は、次のとおりである。 (1)総合研究（プロジェクト）「日本経済・企業復興のための経済・経営・情報理論探求」を推進 「日本経済・企業復興のための経済・経営・情報理論探求」を統一テーマとし、6件（経営情報学研究科大学院生研究支援費含む）のプロジェクト[1110c]を立ち上げ、研究成果評価[1110d]を実施した。プロジェクト終了後に研究成果の提出を求め、運営委員により点検・評価[1110e]を行った。 (2)対外発信力の一層の強化(定期刊行物以外の適時刊行物出版、適時の研究発表会、Web サイトを活用した情報発信、中部大学フェア参加等)、刊行物の有効利用(企業・自治体からの配布要請、メディアへの提供) プロジェクト活動の成果報告会として、研究発表会[1110f]を3月に実施し、多くの方に参加していただき、成果報告をあげることができた。 (3)情報処理技術に関する研究活動への強力な支援 事業計画(1)の中で示している「情報分野の強化を図る」に対し、採択されたプロジェクトへの予算割当てにより研究活動費を支援している。</p>

(4) 講演会・研究発表会・地域と地方行政への積極的支援による社会貢献 (「春日井商工会議所経営発達支援計画評価委員会」への参画等) 2018年度の産業経済研究所講演会を計画どおり2回(6月・11月)[1110g]実施し、内1回は学外から講師を招いて行った。2019年度の産業経済研究所の役割や、社会貢献に向けては、現在、検討中である。	
【1120】(2) 運営委員会を開催[1120a]し、研究活動の内容・進捗状況、研究プロジェクトの採択、研究員の構成等を検討し、中部大学産業経済研究所規程[1110a]、および中部大学産業経済研究所内規[1120b]に則り、適切に行っている。	
長所・特色 《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 1110	研究所の活動について、詳細な規程に基づく独自の自己点検の実施。
項目 No. 1120	年2回の会議を全体会と運営委員会に分け、同一日に実施。
課題事項 《箇条書き》 *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 1110	対外発信力の強化として、研究発表会[1110f]の参加者増加。「産業経済探究[1110h]」の刊行継続。
項目 No. 1120	研究所運営委員と研究員の連携強化。

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果(【留意点】等)への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
【1110】	統一テーマのもとで、基礎研究、応用研究、実証研究等の観点から研究活動の多様性を確保し積極的に推進できる研究所体制の整備を検討。また、「研究所発表会」において、各研究員の専門分野を中心に研究の途中経過や成果を報告し、有効な議論を展開できるよう、事前に研究所のホームページや掲示物等を通じて、参加者を増加させることを現在、検討中。
【1120】	産業経済研究所の円滑な運用を検討中。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策 (到達目標を含む)
1110	研究所の活動について、規程の見直し・検討。社会貢献も含む対外発信力の強化。
1120	研究員の研究成果発表内容について一層の充実。研究成果の対外発信の強化。

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
1110	a	中部大学産業経済研究所規程	A
1110	b	2018年度 研究に係る事業計画と予算の提案	A
1110	c	2018年度 産業経済研究所研究課題一覧	A
1110	d	産業経済研究所研究員の研究成果評価に関する覚書	A
1110	e	2018年度 産業経済研究所研究成果評価表 (最終評価)	A
1110	f	2018年度産業経済研究所研究発表会	A
1110	g	産業経済研究所講演会	A

1110	h	産業経済探究第1号	A
1120	a	2018年度 産業経済研究所運営委員会議事録	A
1120	b	中部大学産業経済研究所内規	A

提出区分 … A: 本シートと一緒に提出する資料 B: 現部署で保管

2019 年度（対象年度：2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	国際人間学研究所
--------	----------

基準 11 大学独自の評価項目

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
1110	研究組織において、計画的に研究活動を推進していますか。	(1) 研究組織（研究所、研究系センター等）において、設置目的に沿った研究推進を計画的に進めていますか。 ・年度重点目標の設定	B
1120	管理運営組織および教育研究組織において、継続的に業務内容の点検を行っていますか。	(2) 委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。	C

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
1110	当研究所客員教授・日高義樹（米・ハドソン研究所上席研究員）による講演会「新しいトランプの時代が始まる-アメリカ経済は更に拡大する」をアクティブホールにて開催し、約 200 名の参加を得た。[1110c]
1110	本研究所主催および共催の講演会を 4 件実施した[1110 a, b, d, e]
長所・特色 < 箇条書き > *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 1110	人文・社会科学関連の講演会などを開催し、総合大学にふさわしい活動に貢献している。
項目 No.	
課題事項 < 箇条書き > *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 1110	今年度はプロジェクト研究の募集を見送った。
項目 No. 1120	年度内に研究所の運営委員会が開催できなかった。

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

< 改善・向上の進捗状況 >

対象年度における取組	*成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない
------------	-------------------------------------------

1110 中部大学天文台、国際人間学研究科などと連携し、共催の形式をとって宣伝し、互いに準備を手伝うなどの方向を模索して、より活発な文理融合の実績づくりに努力した。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
1110	研究所のプロジェクト募集の要綱を見直し、より活発な応募があるよう工夫する。
1120	研究所の運営委員会を、年度内に最低一回は開催する。

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
1110	a	「能楽鑑賞会」ポスター	A
1110	b	「平成とは何だったのか - この30年とこれから」ポスター	A
1110	c	「新しいトランプの時代が始まる-アメリカ経済は更に拡大する」ポスター	A
1110	d	「星の旅人」ポスター	A
1110	e	「関中平原開発史考 - 考古学と歴史学からみる「水と水資源」」ポスター	A

提出区分 … A: 本シートと一緒に提出する資料 B: 現部署で保管

2019 年度（対象年度：2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	生物機能開発研究所
--------	-----------

基準 11 大学独自の評価項目

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
1110	研究組織において、計画的に研究活動を推進していますか。	(1) 研究組織（研究所、研究系センター等）において、設置目的に沿った研究推進を計画的に進めていますか。 ・年度重点目標の設定	A
1120	管理運営組織および教育研究組織において、継続的に業務内容の点検を行っていますか。	(2) 委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
1110	1120 生物機能開発研究所規程[1120a]に基づき、研究所の事業について所定の運営委員会において審議・決定している。[1110a]運営委員会の議を経て事業報告書を作成し事業について点検を行っている。[1110b]。
長所・特色 << 箇条書き >> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 1120	審議はメールで行い、迅速性を図っている[1120b]
項目 No.	
課題事項 << 箇条書き >> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 1120	審議記録を議事録として残すべきである
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

< 改善・向上の進捗状況 >

対象年度における取組	*成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない
------------	-------------------------------------------

特に無し

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
1120	議事録を作成する

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
1110	a	研究に係る事業計画と予算の提案	A
1110	b	研究所（センター）の活動報告	A
1120	a	中部大学生物機能開発研究所規程	A
1120	b	メール審議記録	B

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	生命健康科学研究所
--------	-----------

基準 11 大学独自の評価項目

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
1110	研究組織において、計画的に研究活動を推進していますか。	(1) 研究組織（研究所、研究系センター等）において、設置目的に沿った研究推進を計画的に進めていますか。 ・年度重点目標の設定	B
1120	管理運営組織および教育研究組織において、継続的に業務内容の点検を行っていますか。	(2) 委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
1110	毎年5月に研究推進事務部あて提出する事業計画に年度重点目標を記載し、それに基づいて研究推進を行っている。ただ、2017年度から大幅に変更した予算使用方法等がまだ十分に定着しておらず、結果として計画的に研究推進が行われなかった部分がある。
1120	運営委員会の開催については、研究所長の指示に基づき必要な時期に随時開催している。会議開催後は議事録を作成し、運営委員に周知している
長所・特色 << 箇条書き >> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No.	特に無し
項目 No.	
課題事項 << 箇条書き >> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 1110	研究活動の具体的な計画と実施が遅延気味である。
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

< 改善・向上の進捗状況 >

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない
1120 生命健康科学研究所としての研究推進を実効的に行うため、運営委員に対し事業計画内容の説明を十分に行い、その上で、各部門構成員への周知徹底を依頼する。[1120a]

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
1110	研究活動を早期に計画し着実に実施する。

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
1110	a	2018 年度活動状況報告（生命健康科学研究所）、活動報告及	A
1120	a	生命健康科学研究所運営委員会議事録	B

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	現代教育学研究所
--------	----------

基準 11 大学独自の評価項目

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
1110	研究組織において、計画的に研究活動を推進していますか。	(1)研究組織（研究所、研究系センター等）において、設置目的に沿った研究推進を計画的に進めていますか。 ・年度重点目標の設定	A
1120	管理運営組織および教育研究組織において、持続的に業務内容の点検を行っていますか。	(2)委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
1110 現代教育学研究所はミッションとして①学部教員・大学院生の研究の推進、②春日井市等の近隣の保育・教育機関との交流、③春日井市等の近隣社会における育児力、教育力、学力向上への貢献を掲げ、6プロジェクト（わんぱく隊・すくすく隊・子どもアカデミー・中部教育実践研究会・幼児教育セミナー・劇団くれよん）を実施している[1110a][1110b]。 2019年2月には6プロジェクトの研究成果発表会を開催し、活動の成果を検証している。[1110c][1110d] また、いくつかのプロジェクトでは成果報告書を刊行し、プロジェクト内において活動を点検・評価して検証した結果を示している。[1110e][1110f]	
1120 研究所会議及び6プロジェクトの代表者による「代表者会議」を設置している[1110b]。 4月に第1回研究所員会議を開催し、2018年度の事業計画等を審議している。それに基づいて5月に開催した第1回代表者会議において2018年度の研究課題の具体化のための審議を実施している。10月の第2回代表者会議においては、研究所主催のフォーラム開催の可能性の検討及び研究所セミナーの計画を審議した。11月の第3回代表者会議においては、事業の進捗状況・予算の執行状況を検証・確認し、それを12月開催した第2回研究所員会議において審議・承認している。[1120a][1120b]	
長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 1110	「わんぱく隊」は、全国の教員養成校で実施されているフレンドシップ活動では見られない活動（1. 保幼小の連携を意識したプログラムの開発、2. 特別支援教育・障害児保育に特化した支援グループの設置と専門教員による学生支援）を実施している。
項目 No. 1110	「子どもアカデミー」が実施している土曜チャレンジアップ教室は、春日井市教育委員会、公立小学校、大学の連携で実施しており、全国的に地域密着型学生ボランティア活動の先駆的なモデルケースとして、他県からの視察が実施された[1110g]。

課題事項	《箇条書き》	*改善すべき点、向上すべき点
項目 No. 1110		<ul style="list-style-type: none"> ・6つのプロジェクトが独自に活動を展開しているため、個別には重点目標を設定しているが、研究活動の推進が計画的になされているかをトータルに把握する努力が必要である。 ・10年を経たプロジェクトにおいては、保育・教育実践力向上のためのより明確な支援を実施すること、また子どもや教育現場の状況の変化に対応することが必要である。 ・研究プロジェクトの成果を基にして科研等の外部資金獲得に応募する必要がある。
項目 No. 1120		<ul style="list-style-type: none"> ・研究所会議及びプロジェクト代表者会議を開催しているが、運営委員会の開催は実施計画がなく、研究所全体の活動を検証するための会議の設定が必要である。

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組	*成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない
1110	<p>研究所の各プロジェクトの活動の成果をエビデンスとして示すために2018年度の卒業生に対してアンケート調査を実施した[1110h]。</p> <p>わんぱく隊は2018年度に活動組織の見直しを行った。最大120人に達していた学生ボランティアを解体し、自然体験班（わんぱく農園）、運動遊び班（わんぱくキャラバン）、環境教育班（わんぱくECOチャレンジ）の3つに再構築し直し、1. 学生個々の役割を明確にし、2. それぞれが一年間一つの課題に取り組むことで学びの深まりを得られるようにした。またわんぱくキャラバンはNPO団体、わんぱくECOチャレンジは春日井市と連携して、学外の保育・教育の場へ出て活動を展開する形にしている[1110b]。</p> <p>研究所セミナーとして2019年2月に「社会に開かれた教職課程」とする講演会を実施した[1110i]。</p>

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
1110	研究プロジェクトの成果に基づいて科研等の外部資金に応募する。
1120	運営委員会を定期的に開催して、事業の進捗状況と課題を点検する。

4. 根拠資料

根拠資料No.	根拠資料の名称		提出区分
項目 No.	記号		
1110	a	現代教育学研究所規程	A
1110	b	2018年度 研究に係る事業計画と予算の提案	A
1110	c	2018年度 研究発表会プログラム	A
1110	d	2018年度 活動状況等報告	A
1110	e	2018年度 フレンドシップ活動報告	B
1110	f	中部大学子育てすくすく隊 活動報告書	B
1110	g	「土曜チャレンジアップ教室」掲載記事	A
1110	h	研究所の研究プロジェクトに関する2018年度卒業生への調査結果	B
1110	i	現代教育学研究所講演会チラシ	A
1120	a	2018年度 現代教育学研究所会議 議事録	A
1120	b	2018年度 現代教育学研究所プロジェクト代表者会議 議事録	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	経営情報学部事務室
--------	-----------

基準 11 大学独自の評価項目

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
1120	管理運営組織および教育研究組織において、持続的に業務内容の点検を行っていますか。	(1)管理運営組織（センター、事務部等）の設置目的や事務分掌等に則り、持続的に改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	B
		(2)委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
<p>【1120(1)】 中部大学学則第1章第1条の目的[1120a]、および「教育研究上の目的 経営情報学部」[1120b]、「教育研究上の目的 大学院経営情報学研究科」[1120c]を達成するため、経営情報学部事務室の事務分掌[1120d]に則り、経営情報学部[1120e]、経営情報学研究科[1120f]の年間計画、会議室などの管理、会議の庶務、予算(研究費)の管理などを行っている。 これらの事務室業務に対して、年度始めに、構成員の個人目標、担当業務[1120g]を設定し、時折、面談を実施しているが、定期的な点検・評価を行うシステムは、構築されていない。</p> <p>【1120(2)】 経営情報学部の委員会活動として、大学で定めている中部大学経営情報学部教授会[1120h]、中部大学大学院経営情報学研究科委員会[1120i]、経営情報学部入学者選抜委員会[1120j]、経営情報学部で定めている経営情報学部主任会議[1120k]の開催案内、および各会の議事録作成[1120l][1120m][1120n][1120o]を適切に行っている。</p>	
長所・特色 < 箇条書き > *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 1120(2)	経営情報学部の主な行事の情報を HP に公開
項目 No.	
課題事項 < 箇条書き > *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 1120(2)	各会議でのペーパーレス化を推進する。
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
1120(2)	各会議において、ペーパーレス化を現在、検討中。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
1120(2)	「経営情報学部内で定めている規定」の見直しに向けて、主任会議を中心に検討を進める。

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
1120	a	中部大学学則 大学 HP https://www3.chubu.ac.jp/about/gakusoku/	A
1120	b	教育研究上の目的 経営情報学部 大学 HP https://www3.chubu.ac.jp/facts_figures/study/aim_business/	A
1120	c	教育研究上の目的 経営情報学研究科 大学 HP https://www3.chubu.ac.jp/facts_figures/study/aim_graduate_business/	A
1120	d	事務分掌(該当箇所 p. 10) 大学 HP https://www2.chubu.ac.jp/news_documents/faculty_staff/general_administrations/jimubunshou/jimubunshou.pdf	A
1120	e	経営情報学部年間主な会議日程表	A
1120	f	経営情報学研究科主な年間スケジュール	A
1120	g	2018年度 経営情報学部事務室担当業務	A
1120	h	中部大学大学院経営情報学部教授会規程 大学 HP https://www2.chubu.ac.jp/faculty_staff/regulation/main.php?menu=mokuji	A
1120	i	中部大学大学院経営情報学研究科委員会規程 大学 HP https://www2.chubu.ac.jp/faculty_staff/regulation/main.php?menu=mokuji	A
1120	j	経営情報学部入学者選抜委員会規程 大学 HP https://www2.chubu.ac.jp/faculty_staff/regulation/main.php?menu=mokuji	A
1120	k	主任会議の位置づけ	A
1120	l	2018年度 経営情報学部教授会議事録	A
1120	m	2018年度 経営情報学研究科議事録	A
1120	n	2018年度 経営情報学部入学者選抜委員会議事録	A
1120	o	2018年度 経営情報学部主任会議議事録	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	応用生物学部事務室
--------	-----------

基準 11 大学独自の評価項目

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
1120	管理運営組織および教育研究組織において、持続的に業務内容の点検を行っていますか。	(1) 管理運営組織（センター、事務部等）の設置目的や事務分掌等に則り、持続的に改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	B
		(2) 委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施している、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
1120	(1) 年度重点目標の設定に当たっては、事務分掌等に則り事務長が目標を設定し、各課員のキャリア開発シート [1120c] に落とし込んだものを考課面接等で評価することにより、持続的に改善・向上の取り組みを行っている。
1120	(2) 教授会・研究科委員会の開催は規定 [1120a] に従って行っている。議事録案は事務で作成し、議長の決裁 [1120b] を受けている。その他、審議を要する事項は、手続きを経て委員会を編成し結果の議事録を保管している。
長所・特色 << 箇条書き >> * 先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 1120	教授会・研究科委員会の議事内容及び資料は PDF で作成、議場においてはプロジェクターを使用する。主な資料は PDF で構成員にデータで配布し、紙の節減を図っている。 [1120b]。
項目 No.	
課題事項 << 箇条書き >> * 改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 1120	会議資料の提示方法の改善
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

< 改善・向上の進捗状況 >

対象年度における取組	* 成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない
------------	--------------------------------------------

1120 年度重点項目を常に点検し持続的に改善・向上の取り組みを行った。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
1120	重点目標の達成に関して、PDCAサイクルを実質化するため、課員と振り返りを行う。

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
1120	a	応用生物学部及び応用生物学研究科委員会規程	A
1120	b	決裁文書	B
1120	c	キャリア開発シート	B

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	人間力創成総合教育センター事務室
--------	------------------

基準 11 大学独自の評価項目

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
1120	管理運営組織および教育研究組織において、継続的に業務内容の点検を行っていますか。	(1)管理運営組織（センター、事務部等）の設置目的や事務分掌等に則り、継続的に改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	B
		(2)委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
1120	全学共通教育部事務室から人間力創成総合教育センター（以下センター）事務室への組織変更に伴い、事務手続きの変更に対応しながら業務内容の確認を行い、事務分掌の見直しを行った[1120a]。また、新しく制定されたセンター規程[1120b]に従い、調整企画会議、運営委員会、教員会議の年間計画を作成し、計画に沿って開催するために開催案内の送付や議事録案の作成などのサポートをした[1120c, 1120d, 1120e]。
長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No.	該当なし
課題事項 <<箇条書き>> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No.	該当なし

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
1120	2018 年度の重点目標とした組織変更に伴う事務手続きの変更と見直しは、当初予想していたよりスムーズに行うことができたが、2019 年度はセンター長が変わることもあり、さらなる見直しを続けていく予定である。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
	該当なし

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
1120	a	人間力創成総合教育センター事務室事務分掌	A
1120	b	人間力創成総合教育センター規程	A
1120	c	2018 年度人間力創成総合教育センター調整企画会議議事録	A
1120	d	2018 年度人間力創成総合教育センター運営委員会議事録	A
1120	e	2018 年度人間力創成総合教育センター教員会議議事録	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	学生部・学生教育部（学生支援課）
--------	------------------

基準 11 大学独自の評価項目

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
1120	管理運営組織および教育研究組織において、持続的に業務内容の点検を行っていますか。	(1) 管理運営組織（センター、事務部等）の設置目的や事務分掌等に則り、持続的に改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	C
		(2) 委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
1120 学生生活の支援、学生の福利厚生等の充実発展を目的に「学生委員会」を始め各種委員会を設置し、企画立案、業務改善、目的毎の方策を検討・協議している。業務内容の点検については各種委員会での議事を踏まえ、適宜、部・課内で打合せを行っているが、持続的な点検には至っていない。また管理運営組織の設置目的や事務分掌に則った持続的な改善・向上の取り組みに関しては年度重点目標を「安心・安全な学生生活を送るためのキャンパスづくり」として行っている。なお各種委員会を開催するにあたっては開催起案[1120a]の決裁を経て開催し、議事録作成[1120b]に関する手続きも概ね適切に行っている。	
長所・特色 <箇条書き> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 1120	学生の生活支援を目的に学生委員会を中心として奨学生選考委員会、寮生活委員会、春日丘寮指導委員会、ボランティア・NPO センター運営委員会、チャレンジ・サイト運営委員会、を設置
項目 No.	
課題事項 <箇条書き> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 1120	課内業務における持続的な改善・向上を目的とした具体的な目標の設定
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない
<p>1120 年度重点目標として掲げる「安心・安全な学生生活を送るためのキャンパスづくり」に伴い、施設・設備面については「厚生モニター（学生と意見交換をする会議）」による学生からの意見聴取[1120c]と「学生委員会」で検討された方策を基に管財部に提言し、危急の案件から改善・改修（計画含む）[1120d]されている（武道体育館3階アリーナの空調設備を整備、体育館メインアリーナの床フローリング張り替え等）。制度面については定期的に「キャンパスマナー向上キャンペーン」を行うことにより、マナー教育の一環として年度重点目標に寄与している。特に2018年度は喫煙学生に対する禁煙指導に重点を置き、禁煙促進活動に取り組んだ。またクラブ活動においては適正な活動と事故・不祥事を防止することを目的に「活動届」の提出[1120e]に基づき活動を認め、各クラブへの重要事項の連絡は定期的に開催するクラブ代表者会議において情報共有と指導を行った（猛暑に対する熱中症対策等）。また年に1度「リーダーズミーティングキャンプ」を開催し、クラブを代表する学生に対し、適正なクラブ運営についての指導を行った。その他にも学生食堂の運営状況の巡視を強化し、安心かつ安全な食事の提供に繋がる、食堂業者への衛生面の指導および施設・設備の点検・整備を実施[1120f]した。</p>

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
1120	クラブ活動支援に関し、代表者会議のあり方を見直すとともにクラブ支援を担当する課員のスキルアップを図る。また提出書類の様式の見直しや運営・危機管理に関するマニュアルを作成する。
1120	喫煙学生への禁煙促進と禁煙支援、マナー・ルール違反者への対応について積極的に検討する。また既設の喫煙所（8箇所）を廃止し、法を遵守した喫煙所（2箇所）を新設する。
1120	奨学金制度の充実化について現行の制度の見直しと給付型への移行を検討する。
1120	障がい者支援に関し、関連部署による検討会を行い、然るべき規程・ガイドライン等を策定する。
1120	各種業務（行事含む）の見直し・整理を行い、改善・移管・廃止を検討する。

4. 根拠資料

根拠資料No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
1120	a	第1回学生委員会開催起案（2018年5月17日開催）	A
1120	b	第1回学生委員会議事録（2018年5月17日開催）	A
1120	c	2018年度厚生モニター議事録	A
1120	d	「安心・安全な学生生活を送るためのキャンパスづくり」に伴う整備状況（2019年3月7日開催 第6回学生委員会資料）	A
1120	e	活動届書（公認団体用）	B
1120	f	2018年度食堂業者巡視報告書	B

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	教学システム課
--------	---------

基準 11 大学独自の評価項目

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
1120	管理運営組織および教育研究組織において、継続的に業務内容の点検を行っていますか。	(1)管理運営組織（センター、事務部等）の設置目的や事務分掌等に則り、持続的に改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	B
		(2)委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施している、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
1120 学生支援に関する方針・教育研究等環境の整備に関する方針[1102a]に基づき、ICTを利用した学生・教員ならびに関連事務部門への支援システムならびに情報の提供をしている。提供内容の適否については、各事務部門との協議・教務委員会などの審議等を経て導入・改善案を作成し、起案・導入契約により実施している。 2018 年度の導入例として、①卒業生データの蓄積計画[1102b]、同窓会保有の卒業生データの本学移管について[1102c]、卒業生データベース及び学内部署における学生情報利用のためのデータサーバ再構築[1102d]を受け、要件確定・変更案作成を行い、統合学生情報システム DB 構築について[1120e]・統合学生情報システムアプリ構築（STEP 2）の実施について[1120f]の内容で実施した。②大学で包括契約しているウイルス対策ソフトウェア更新を検討した結果、ウイルス対策ソフト変更について[1120g]のように当初計画より1年前倒しする計画変更があり、ウイルス対策ソフト配布・ダウンロードシステム改修の契約について[1120h]の内容で構築・改修についての契約を行い実施した。	
長所・特色 << 箇条書き >> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 1120	ソフトウェアを変更することでの経費削減効果があった。[1120g]
項目 No. 1120	大学で電子化以前の卒業生を含め、卒業生との連携強化を進める基盤構築となる。[1102b]
課題事項 << 箇条書き >> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 1120	他部門との事前調整向上。[1120g]
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
1120	教学関連システムの管理・運用が業務の中心であるが、前年度の改善であげたような他部門（教学関連部署・情報システム管理部門など）との事前協議・ヒアリングなど事前調整に力を入れた。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
1120	システム改善打ち合わせ等についてのまとめ・確認が不足しておりこれらの整備を確実にを行う。

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
1120	a	教育研究の質向上のための各種方針等	A
1120	b	卒業生データの蓄積について	A
1120	c	同窓会保有の卒業生データの本学移管について	A
1120	d	卒業生データベースおよび学内部署における学生情報データサーバの再構築について	A
1120	e	統合学生情報システム DB 構築について	A
1120	f	統合学生情報システムアプリ構築（STEP 2）の実施について	A
1120	g	ウイルス対策ソフト変更について	A
1120	h	ウイルス対策ソフト配布・変更について	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	学部・大学院統括課
--------	-----------

基準 11 大学独自の評価項目

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
1120	管理運営組織および教育研究組織において、定期的に業務内容の点検を行っていますか。	(1)管理運営組織（センター、事務部等）の設置目的や事務分掌等に則り、持続的に改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	C
		(2)委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。	D

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
1120 事務分掌に示されているとおり学生教育事務部門と学部・研究科間の調整を主な業務としているが、現在のところ学部・研究科間で協議が必要となった際に不定期で打合せを実施するに留まり、改善・向上に繋がる業務の確認・検証は行われていない[1120a]。そのような状況ではあったが、高等教育負担軽減新制度に関する情報共有を行い、学部事務室協力のもとで学内事前調査を実施した。	
長所・特色 << 箇条書き >> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 1120	不定期ではあるが、会議を開催することで学部間（事務部門）の情報共有あるいは意志統一を図ることが容易になった。
項目 No.	
課題事項 << 箇条書き >> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 1120	定例会議の実施等、業務・活動内容を検証する機会の設置
項目 No. 1120	年度重点目標の設定

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
1120	毎月会議を開催する計画であったが、前年度と比べて開催数は増えたものの、月1回の割合で開催することはできなかった。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策 (到達目標を含む)
1120	打合せ記録を作成し各部署へ確認することで、業務の可視化を図るとともに、検証・確認による業務改善に繋げる。

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
1120	a	2018 年度事務分掌 p. 16	A

提出区分 … A: 本シートと一緒に提出する資料 B: 現部署で保管

2019 年度（対象年度：2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	国際センター事務部
--------	-----------

基準 11 大学独自の評価項目

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
1120	管理運営組織および教育研究組織において、持続的に業務内容の点検を行っていますか。	(1)管理運営組織（センター、事務部等）の設置目的や事務分掌等に則り、持続的に改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	A
		(2)委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
1120	<p>国際戦略部門・国際センターの年度事業計画を策定し、その事業計画に基づいた事業運営を行っている。この事業計画については、センター長・副センター長・事務管理職で組織する国際センター連絡会議にて原案を作成し、全学委員会の国際センター会議（2018年5月10日開催）にて審議し、承認を得ている。[1120a,b]</p> <p>この事業計画については、会議資料を本学ホームページ、教職員専用の留学・国際交流のページに掲載しているため、教職員の閲覧が可能である。</p> <p>また、事業計画に基づいた事業の実績について、翌年度の国際センター運営委員会（2019年5月下旬開催）で事業実施報告を行う予定である。</p> <p>検証と自己点検については、国際センター会議、国際センター運営委員会および国際センター連絡会議にて事業実施報告および年度事業計画について審議・報告する際に行っている。</p>
1120	<p>委員会活動に関しては、国際センター会議、国際センター運営委員会の双方において、計画通り年間4回から5回開催し、議事録についても各委員に内容を確認したうえで次の回の委員会でも提示し、意見を聞いた上で起案決裁（決裁者：委員長）をして確定としている。議事録は会議資料と同様、ホームページ上での閲覧が可能である。[1120b,c]</p>
長所・特色 <箇条書き> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 1120	2013 年度に国際交流戦略室が策定した、中部大学国際交流戦略を基礎とした、具体的な数値目標が示された年度事業計画が示されていること
項目 No.	

課題事項	《箇条書き》 *改善すべき点、向上すべき点
項目 No. 1120	海外へ留学する学生を増やすための方策の検討
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組	*成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない
1120	文部科学省の「大学における海外留学に関する危機管理ガイドライン」にしたがって、全学の学生に対し意識啓発の徹底を図る目的で、「中部大学海外留学に関する危機管理ガイドブック」を作成し、ホームページ上に掲載し学生や教職員が閲覧できるようにした。さらに、2018年5月10日の国際センター運営委員会でも報告し、各学部等への周知も行った。[1120c,d]

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
1120	留学プログラムの見直しを行い、学生にとって魅力的かつ効果的なプログラムの導入、および留学生派遣に係る事務のさらなる効率化の方策を検討する。

4. 根拠資料

根拠資料 No.	根拠資料の名称		提出区分
項目 No.	記号		
1120	a	2018年度（国際戦略部門）国際センターの事業計画 https://www3.chubu.ac.jp/international_exchange/faculty_staff/news/23735/	A
1120	b	2018年度第1回国際センター会議議事録 https://www3.chubu.ac.jp/international_exchange/faculty_staff/news/23960/	A
1120	c	2018年度第1回国際センター運営委員会議事録 https://www3.chubu.ac.jp/international_exchange/faculty_staff/news/23940/	A
1120	d	中部大学海外留学に関する危機管理ガイドブック https://www2.chubu.ac.jp/current_students/digibook/study_abroad_risk_management/#page=1	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	語学教育センター外国語教育プログラム
--------	--------------------

基準 11 大学独自の評価項目

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
1120	管理運営組織および教育研究組織において、継続的に業務内容の点検を行っていますか。	(1)管理運営組織（センター、事務部等）の設置目的や事務分掌等に則り、継続的に改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	A
		(2)委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
1120	前年度末の運営委員会で承認された事業計画に基づき、PASEO（協定校・アメリカのオハイオ大学認定の語学教育を専門とする外国人の専任講師が担当する英語の授業）の運営支援、語学学習専用自習室 SI ルームの管理、語学教室機器のメンテナンス、所属教員人事に関する一連の業務（募集から採用、採用後のサポート等）、語学教育センター主催講座などを行った。学期末に行う語学教育センター（外国語教育プログラム）運営委員会において、当該学期の実施内容について報告し、意見交換をした上で、次学期に実施予定の計画について承認を得ている。なお、秋学期末の運営委員会は事情により実施できなかったが、定例報告内容については資料を作成し、委員に送付した。[1120a~d]
長所・特色 << 箇条書き >> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No.1120	協定大学から認定・派遣された教員による PASEO は本学独自のもので、単位履修、単位外履修のどちらも可能であるのも珍しい。
項目 No.1120	教員が精選した自主学習に適した教材を揃えている語学専用の自習室（SI ルーム）を持っている大学は少ない。
課題事項 << 箇条書き >> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No.1120	SI ルームを年間通して安定した開室時間で提供できるようにする必要がある。また、自習室に相応しい学習環境を提供する必要がある。
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組	*成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない
<p>学生にもっと語学教育センターやS I ルームを認知・利用してもらうのを目的として、19号館2階の3箇所に案内吊看板を設置した。これにより、語学教育センターの場所を認知させ、S I ルームへの入りやすさを向上させることができた。[1120e]</p>	

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
1120	PASEO を受講するために必要なオリエンテーションは、ネイティブ教員による説明の後、日本人スタッフによる日本語での説明を行っている。このオリエンテーションは履修のためには知っておいてほしい情報ではあるが、参加を必須とするかどうかはポリシーの問題であり、参加しなくても周知できるようにすることで実施する側、参加する側、双方にとってメリットのあるものとなると考えている。

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
1120	a	2018年度業務予定（2017年度第2回語学センター運営委員会資料より抜粋）	A
1120	b-1	2018年度第1回語学教育センター（外国語教育プログラム）運営委員会議事録	A
1120	b-2	2018年度第1回語学教育センター（外国語教育プログラム）運営委員会資料	A
1120	c	2018年度第2回語学教育センター（外国語教育プログラム）運営委員会資料	A
1120	d	2019年4月1日採用 OPELT 教員 募集要項	A
1120	e	語学教育センター・SI Room 案内吊看板設置写真	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	語学教育センター 日本語教育プログラム
--------	------------------------

基準 11 大学独自の評価項目

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
1120	管理運営組織および教育研究組織において、持続的に業務内容の点検を行っていますか。	(1)管理運営組織（センター、事務部等）の設置目的や事務分掌等に則り、持続的に改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	A
		(2)委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
1120 プログラム運営に係る事項は、日本語教育プログラム運営委員会にて審議され、承認を得たうえで起案決裁（決裁者：担当副学長）を受けている。原案はセンター長・副センター長・所属教員・事務職員で構成する日本語教育プログラム連絡会で形成される。 年度の事業計画については、国際戦略部門に属する組織のため、国際戦略部門の事業計画として国際センター会議等で審議され、承認を得ている。[1120a,b] 検証と自己点検については、日本語教育プログラム連絡会で適宜実施するほか、日本語教育プログラム運営委員会にて行っている。国際センター会議においても事業実施報告を行う予定である。 1120 運営委員会は春学期と秋学期に1回ずつ、年2回開催している。議事録についても委員に内容を確認した上で起案決裁し（決裁者：委員長）、確定としている。[1120a]	
長所・特色 <箇条書き> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 1120	長年にわたって春日井市内の小学校に留学生を派遣する「小学校訪問」を実施しており、2018年12月にも留学生と小学生が双方に自国の文化伝える交流を実施した。地域住民（小学生）に異文化理解や異文化コミュニケーションの機会を提供し、国際理解教育の一助となっていると共に、留学生にとっては日本語口頭発表や日本文化社会に実際に触れる機会となり、双方向の学習の場となっている。[1120c]
項目 No.	

課題事項 《箇条書き》 *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 1120	プログラム内容が長年同じ内容で運営されており、その弊害が顕著になってきているため、プログラムの改善や新たなプログラムの導入を検討していく。
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
1120	日本研修プログラムおよび日本語支援プログラムの修了証の取り扱いについて、内規を整備して授与の基準をより明確化するように準備を行ったが、実現には至らなかった。2019年度に実施するプログラム内容の見直しとあわせて、問題を整理したい。[1120a,d]

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
1120	プログラム内容の改善または留学生に対する新たな日本語教育のプログラムの導入を検討する。この取り組みが最終的に受入留学生の増加につながり、本学の国際化に資することができるようにしたい。

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
1120	a	2018年度第1回語学教育センター日本語教育プログラム運営委員会議事録	A
1120	b	2018年度（国際戦略部門）国際センターの事業計画	A
1120	c	2018年度 小学校訪問 参加者名簿	A
1120	d	日本研修プログラムおよび日本語支援プログラムにおける修了証に関する申し合わせ(案)	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	中国連携推進室
--------	---------

基準 11 大学独自の評価項目

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
1120	管理運営組織および教育研究組織において、継続的に業務内容の点検を行っていますか。	(1) 管理運営組織（センター、事務部等）の設置目的や事務分掌等に則り、継続的に改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	B
		(2) 委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施している、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
1120 中国連携推進委員会において、各年度の活動予定と重点目標を設定し、活動成果の検証とそれに基づく改善の取り組みを行っている。[1120a]。	
長所・特色 << 箇条書き >> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 1120	JST さくらサイエンスプランによる中国の交流協定大学学生の科学技術研修を教職協働で年2回実施し、教育研究交流を深めるとともに、大学院留学生の受け入れに繋げている[1120b]。
項目 No. 1120	国際産官学連携ワークショップを開催し、500名を超える参加者を得て、産官学連携に関する有益な国際交流、情報交換を行った[1120c]。
課題事項 << 箇条書き >> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 1120	業務内容に関する定期的、継続的な点検・評価とそれに基づく更なる改善の取り組み。
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

< 改善・向上の進捗状況 >

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない
1120 中国連携推進室業務の充実を図るため、中国連携推進委員会の委員を全学に広げ、教職協働の体制を目指した [1120d]。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
1120	業務内容改善のための事務組織の充実。
1120	業務内容充実のための教職協働体制の強化。

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
1120	a	2018 年度中国連携推進委員会資料	A
1120	b	2018 年度第 1 回・第 2 回さくらサイエンスプラン業務計画書・報告書	A
1120	c	第 4 回国際産官学連携ワークショップ報告書	A
1120	d	2018 年度中国連携推進室規程・中国連携推進委員会名簿	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	大学教育研究センター
--------	------------

基準 11 大学独自の評価項目

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
1120	管理運営組織および教育研究組織において、継続的に業務内容の点検を行っていますか。	(1)管理運営組織（センター、事務部等）の設置目的や事務分掌等に則り、継続的に改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	A
		(2)委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
1120 (1) FD 活動全般、「中部大学教育研究」の編集及び発行、「教育・研究活動に関する実態資料」の編集及び発行、教育活動顕彰制度等を実施しており、FD 委員会、FD 活動評価点検委員会、教育活動顕彰審査委員会等を開催し、現状を報告するとともに改善向上に向けて検討を行っている [1120a]。	
1120 (2) 委員会の開催、議事録の作成については起案、決裁を行って開催、作成している。[1120b]	
長所・特色 << 箇条書き >> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 1120	FD 委員会では、事前に PDF にて資料を送付し、委員会当日はペーパーレスにて会議を進行している。
項目 No.	
課題事項 << 箇条書き >> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 1120	FD 委員会以外の会議においても、ペーパーレス化ができないか検討をすすめたい。
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない
1120 中部大学教育活動顕彰規程の改正をした[1120c][1120d]。 新たに教員活動重点目標・自己評価シートを実施した[1120e]。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
1120	FD 委員会を中心に各委員会において、引き続き現状分析と検討を行い、各制度やプログラム等の点検評価を行うとともに、SD に関する対応を検討する。

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
1120	a	各委員会の議事録	B
1120	b	各委員会開催及び議事録作成の起案	B
1120	c	2017 年度第 4 回 FD 委員会議事録	A
1120	d	中部大学教育活動顕彰規程	A
1120	e	2018 教員活動重点目標・自己評価シート様式	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	体育・文化センター
--------	-----------

基準 11 大学独自の評価項目

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
1120	管理運営組織および教育研究組織において、持続的に業務内容の点検を行っていますか。	(1) 管理運営組織（センター、事務部等）の設置目的や事務分掌等に則り、持続的に改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	D
		(2) 委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。	D

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施している、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
1120 体育・文化センターは体育・文化施設の利用管理と施設の整備・保全を主たる業務としており、学生支援課内で適宜打合せを行うものの、管理運営組織の設置目的や事務分掌に則った持続的な改善・向上の取り組みに関し、明確な年度重点目標の設定はできていない。また委員会についても設置されていない。	
長所・特色 << 箇条書き >> * 先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 1120	施設利用学生の安全確保を目的に体育・文化施設の整備・保全に関する定例打合せを管財部と行っている。
項目 No.	
課題事項 << 箇条書き >> * 改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 1120	学生の施設修繕依頼に対し、危急の案件から迅速に対応する。
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

< 改善・向上の進捗状況 >

対象年度における取組	* 成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない
------------	--------------------------------------------

1120 課外活動団体に対し施設利用に伴う調整を行い、利用団体の重複が起これぬよう管理した。また施設巡視や課外活動団体からの申し出等を基に学生支援課と連携し、管財部との打合せを行い施設・設備の保全に務めた（武道体育館3階アリーナの空調設備を整備、体育館メインアリーナの床フローリング張り替え等）。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
1120	センター業務を全て学生支援課で行い、施設の予約・利用上のトラブルの低減を目的とした課外活動団体への指導と管理を徹底する。
1120	学生支援課員による施設巡視を強化し、活動に危険が生じる整備不良については積極的に管財部に提言し、施設・設備の保全に務める。

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	健康増進センター事務局
--------	-------------

基準 11 大学独自の評価項目

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
1120	管理運営組織および教育研究組織において、継続的に業務内容の点検を行っていますか。	(1)管理運営組織（センター、事務局等）の設置目的や事務分掌等に則り、持続的に改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	B
		(2)委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施している、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
1120 中部大学健康増進センター規程に基づき、健康増進センター運営委員会において、事業計画、スケジュール等の決定、年度末に事業報告および次年度の活動方針について報告、意見交換をおこなっており、運営委員会において、審議、報告された内容については、議事録を作成し保管している。(1120a,b)	
長所・特色 << 箇条書き >> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
特になし	
課題事項 << 箇条書き >> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 1120	引き続き睡眠相談室、学生相談室および保健管理室の連携強化の取り組みの検討が必要である。
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

< 改善・向上の進捗状況 >

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
1120	年度当初の運営委員会において決定した事業計画およびスケジュールに対し、年度末の運営委員会で保健管理室、学生相談室、睡眠相談室から事業報告をおこない進捗状況を共有し、今後の取り組みについて意見交換をおこなった。(1120c,d,e)

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
1120	保健管理室、学生相談室および睡眠相談室がおこなっている向上・改善に向けた取り組みの進捗状況および結果について、個人情報に配慮した上で運営委員会等を通じて共有し、学生及び教職員の健康増進のための方策を検討し連携を強化していく。

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
1120	a	【議事録】第3回健康増進センター運営委員会 20180705	A
1120	b	【議事録】第4回健康増進センター運営委員会	A
1120	c	201902【学生相談室】事業報告 2018	A
1120	d	201902【睡眠相談室】事業報告 2018	A
1120	e	201902【保健管理室】事業報告 2018	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	健康増進センター 保健管理室
--------	----------------

基準 11 大学独自の評価項目

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
1120	管理運営組織および教育研究組織において、持続的に業務内容の点検を行っていますか。	(1)管理運営組織（センター、事務部等）の設置目的や事務分掌等に則り、持続的に改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	B
		(2)委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
1120 中部大学健康増進センター規程に基づき、健康増進センター運営委員会において、事業計画、スケジュール等の決定、年度末に事業報告および次年度の活動方針について報告、意見交換をおこなっており、運営委員会において、審議、報告された内容については、議事録を作成し保管している。(1120a,b)	
長所・特色 < 箇条書き > *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No.	特になし
項目 No.	
課題事項 < 箇条書き > *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 1120	健康診断の周知方法の検討が必要である。
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

< 改善・向上の進捗状況 >

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
1120	掲示板・HP・学生部便・トラネットでの周知を行っているが、受診率の増加には至らなかった。2017年88.6%から2018年85%に低下した。[1120c]

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
1120	掲示板を見ない、トラネットも見ない学生へ周知させる方法の検討（ペナルティや追加健診日も含めた）を続ける。

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
1120	a	【議事録】第3回健康増進センター運営委員会 20180705	A
1120	b	【議事録】第4回健康増進センター運営委員会	A
1120	c	2018年(学生)健康診断受診率	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	健康増進センター 学生相談室
--------	----------------

基準 11 大学独自の評価項目

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
1120	管理運営組織および教育研究組織において、持続的に業務内容の点検を行っていますか。	(1) 管理運営組織（センター、事務部等）の設置目的や事務分掌等に則り、持続的に改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	A
		(2) 委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
1120 中部大学健康増進センター規程に基づき、健康増進センター運営委員会において、事業計画、スケジュール等の決定、年度末に事業報告および次年度の活動方針について報告、意見交換をおこなっており、運営委員会において、審議、報告された内容については、議事録を作成し保管している。(1120e,f)	
長所・特色 < 箇条書き > *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 1120	スタートアップセミナー授業において学生相談室の個別面談で得た知見を活かした新入生適応支援教育を実施した。
項目 No.	
課題事項 < 箇条書き > *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 1120	ハラスメント被害防止に向けた教職員を対象とした予防的活動がより必要である。
項目 No. 1120	障害学生支援に向けた教職員を対象とした活動がより必要である。

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

< 改善・向上の進捗状況 >

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
1120	「向上すべき点、改善すべき点」として「学生相談室の利用者の増加を抑制するために必要な予防的活動の強化の検討が不十分」との指摘を受け、予防的心理教育活動を拡充させるために、個別面談の他に以下の取組を行った。

- ①学科必修科目「スタートアップセミナー」において新入生の適応支援となる単元「社会生活の基礎・大学生の対人関係」を、依頼を受けた全18学科(受講生1731名)に専任相談員2名で計21回の出前授業をした。「不安が軽減された」との感想が得られた。[1120a]
- ②心理教育プログラムとして、全学生対象企画「ひとり暮らし入門」「自分探しグループ」、相談室を利用している障害学生対象企画「おしゃべり会」「ゲームの会」「より良いコミュニケーションを考える会」、1年生、2年生の親対象企画「ミニ講演会」を開催した。[1120b]
- ③学生理解と学生対応のための教職員対象FD「第77回キャリアアッププログラム最近の学生の特徴と学生との接し方」を実施した。[1120c]
- ④学外実習中のハラスメント被害防止を目的に、中部大学応用生物学部食品栄養科学科管理栄養科学専攻平成30年度臨地実習指導者会議において「昨今の学生事情について」と題した研修を担当した。[1120d]

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策 (到達目標を含む)
1120	ハラスメント被害の防止と発達障害・精神障害学生支援に役立つ教職員を対象とした方策を検討し、学内関係部署との連携を図りつつ、学生達の心理的学修環境の向上を強化していく。

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
1120	a	スタートアップセミナーで使用する講義室のご連絡	A
1120	b	プログラム案内	A
1120	c	第77回キャリアアッププログラム「最近の学生の特徴と学生との接し方」	A
1120	d	中部大学応用生物学部食品栄養科学科管理栄養科学専攻平成30年度臨地実習指導者会議	A
1120	e	【議事録】第3回健康増進センター運営委員会 20180705	A
1120	f	【議事録】第4回健康増進センター運営委員会	A

提出区分 … A: 本シートと一緒に提出する資料 B: 現部署で保管

2019 年度（対象年度：2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	健康増進センター 睡眠相談室
--------	----------------

基準 11 大学独自の評価項目

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
1120	管理運営組織および教育研究組織において、持続的に業務内容の点検を行っていますか。	(1) 管理運営組織（センター、事務部等）の設置目的や事務分掌等に則り、持続的に改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	A
		(2) 委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
1120 中部大学健康増進センター規程に基づき、健康増進センター運営委員会において、事業計画、スケジュール等の決定、年度末に事業報告および次年度の活動方針について報告、意見交換をおこなっており、運営委員会において、審議、報告された内容については、議事録を作成し保管している。(1120a,b)	
長所・特色 < 箇条書き > *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No.	特になし
項目 No.	
課題事項 < 箇条書き > *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No.	特になし
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

< 改善・向上の進捗状況 >

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
1120 新入生オリエンテーションの際に睡眠相談室のリーフレットを配布し、昨年度より行っている睡眠健康講演会を開催したことなどにより、認知度が上がり睡眠相談が増加している。(1120C)	

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
1120	睡眠相談室がおこなっている向上・改善に向けた取り組みの進捗状況および結果について、個人情報に配慮した上で運営委員会を通じて保健管理室、学生相談室と共有し、学生及び教職員の健康増進のための方策を検討し連携を強化していく。

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
1120	a	【議事録】第3回健康増進センター運営委員会 20180705	A
1120	b	【議事録】第4回健康増進センター運営委員会	A
1120	c	201902【睡眠相談室】事業報告添付資料	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	自己点検・評価推進室
--------	------------

基準 11 大学独自の評価項目

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
1120	管理運営組織および教育研究組織において、持続的に業務内容の点検を行っていますか。	(1)管理運営組織（センター、事務部等）の設置目的や事務分掌等に則り、持続的に改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	B
		(2)委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施している、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
1120 自己点検・評価推進室は、自己点検・評価および 認証評価受審に関することを業務としている。 2017 年度には、これまでの自己点検・評価を見直した新たな見える化を目指した内部質保証システムが構築され、2018 年度より「中部大学自己・点検評価実施要項」（以下、実施要項）に基づき実施した[1120a]。 2018 年度の年度重点目標を、実施要項に従い問題なく実施することと定め、滞りなく実施することができた。またホームページに2018 年度自己点検・評価結果ページを新しく作成し、学内外に公表している[1120b]。またその実施を踏まえ自己点検・評価システムの見直しを行い、改善や向上が必要と思われる箇所の改善等を行い2019 年度「中部大学自己・点検評価実施要項」を作成し、自己点検・評価委員会にて承認を得た[1120c]。なお、手引書等についても、随時手直しを行うなど改善を図っている。 自己点検・評価については、毎月2回以上の打合せを開催しており、その都度問題点や改善点について話し合いを行い、当該年度で改善できることはその都度対応している[1120d]。 自己点検・評価委員会に関する開催および議事録等についての手続きは、すべて起案書を作成しており適切に処理している[1120e]。	
長所・特色 < 箇条書き > *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 1120	各組織単位ごとに、自己点検・評価結果およびピアレビュー報告書をホームページで学内外に公表している。
項目 No.	
課題事項 < 箇条書き > *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 1120	学部・研究科対象に自己点検・評価の実施にかかる説明会を開催しているが、研究組織および事務組織対象の説明会も開催する。

項目 No. 1120	「中部大学自己・点検評価実施要項」の更なる見直しと改善向上。
-------------	--------------------------------

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組	*成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない
1120	「中部大学自己点検・評価実施要項」に基づき実施したその結果を踏まえ見直しを行い、改善や向上が必要と思われる箇所の改善等を行い2019年度「中部大学自己点検・評価実施要項」を作成し、自己点検・評価委員会にて承認を得た[1120c]。なお、手引書等についても、随時手直しを行うなど改善を図っている。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
1120	今後も継続して、自己点検・評価の実施において出てきた課題にしっかりと対応し改善する。

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
1120	a	中部大学自己点検・評価実施要項（2018）	A
1120	b	ホームページ https://www3.chubu.ac.jp/facts_figures/evaluate/self_evaluation/2017report/	A
1120	c	中部大学自己点検・評価実施要項（2019）	A
1120	d	2018年度 評価推進室 活動記録	A
1120	e	委員会等開催起案、議事録作成起案、委員会等議事録	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	学長室
--------	-----

基準 11 大学独自の評価項目

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
1120	管理運営組織および教育研究組織において、持続的に業務内容の点検を行っていますか。	(1) 管理運営組織（センター、事務部等）の設置目的や事務分掌等に則り、持続的に改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	B
		(2) 委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
1120 学長室の事務分掌には大学企画運営会議の調整および学長特命事項とあるが、特に学長特命事項として前年度から引き続き学園内保育所の開設に取り組み、2018 年 6 月に開設し、運営が軌道に乗るよう取り組んだ。[1120c、1120d] 学長室が庶務を担当している大学企画運営会議を申し合わせに基づき、毎月開催している。大学における問題点、課題などを検討している。[1120a、1120b] 2018 年度は、副学長、大学事務局長の秘書業務が新たに業務として加わり、担当業務について点検を行いつつ、業務を遂行している。	
長所・特色 < 箇条書き > *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 1120	学長、副学長等による迅速な合意形成を行うために大学企画運営会議を運営した。[1120a、1120b]
項目 No. 1120	学長からの特命事項への迅速な対応
課題事項 < 箇条書き > *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 1120	新たな担当業務を加えた上での点検評価の実施
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
1120	・学長特命事項として、学園内保育所を設置し、運営が軌道に乗るよう取り組んだ[1120c、1120d]。
1120	・大学企画運営会議の運営を行った [1120a、1120b]。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策 (到達目標を含む)
1120	学長特命事項への迅速な取り組み

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
1120	a	中部大学企画運営会議に関する申合わせ (学長裁定)	A
1120	b	大学企画運営会議資料	B
1120	c	学園内保育所運営規程	A
1120	d	2018 年度学園内保育所運営委員会議事録	A

提出区分 … A: 本シートと一緒に提出する資料 B: 現部署で保管

2019 年度（対象年度：2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	東京事務所
--------	-------

基準 11 大学独自の評価項目

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
1120	管理運営組織および教育研究組織において、持続的に業務内容の点検を行っていますか。	(1)管理運営組織（センター、事務部等）の設置目的や事務分掌等に則り、持続的に改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	B
		(2)委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。	委員会なし

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施している、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
1120 東京事務所の利用状況を把握するため、利用者氏名、所属、利用目的等の詳細を、年間を通して記録している。利用目的別利用者数の経年推移から、東京事務所の運営がニーズに合っているかを検証し、本学関係者の首都圏における活動拠点として積極的に活用されるよう改善に努めている[1120a]。	
長所・特色 < 箇条書き > *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 1120	就職活動をする学生に向けて、東京事務所を紹介するリーフレットを配付しているが、利便性向上のためQRコードを掲載するなどデザインをリニューアルした[1120b]。
項目 No.	
課題事項 < 箇条書き > *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 1120	東京事務所を本学関係者の首都圏の拠点として利用できるよう広報活動に努める。東京事務所を紹介するリーフレットの改善見直しを行う。
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

< 改善・向上の進捗状況 >

対象年度における取組	*成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない
------------	-------------------------------------------

1120 2017年度は就職活動の始まる直前の2月に配付したが、2018年度は12月から配付し、より多くの学生に利用されるよう改善した[1120b]。

1120 事務所内のWi-Fi環境について、中部大学OBも含めた一般外部の利用があるため、セキュリティ対応としてNTTが提供するプランに加入した。これにより、事故・事件、故障の際の早急な対応が可能となった。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策 (到達目標を含む)
1120	学生に東京事務所を知ってもらい、便利に利用してもらうため広報活動を行う。
1120	事務所には業務委託職員2名が常駐しているが、休憩時間や休暇の場合に1人体制となるため、安全上の環境整備について、今後検討していく。

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
1120	a	2018年度中部大学東京事務所業務報告書	A
1120	b	東京事務所を紹介するリーフレット	A

提出区分 … A: 本シートと一緒に提出する資料 B: 現部署で保管

2019 年度（対象年度：2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	管財部 管財課
--------	---------

基準 11 大学独自の評価項目

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
1120	管理運営組織および教育研究組織において、持続的に業務内容の点検を行っていますか。	(1) 管理運営組織（センター、事務部等）の設置目的や事務分掌等に則り、持続的に改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	A
		(2) 委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
1120(1)：「業務部分担表」「年度業務スケジュール」を策定し、重点目標を明確にしている。(1120(1)a、b)	
1120(2)：管財課主管のキャンパス整備委員会は年2回（6月、1月）開催し、6月は適切に議事録が作成されていたが、1月は議事録が作成されていなかった。(1120(2)c)	
長所・特色 < 箇条書き > *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 1120(1)	「年度業務スケジュール」を作成したことにより、各担当者のスケジュールが可視化出来ている。
課題事項 < 箇条書き > *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 1120(1)	課員の業務平準化
項目 No. 1120(2)	適切な議事録の作成

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
1120(1)	前年度課題事項とした「年度重点目標」「業務分担表」は作成し、課内で周知を行うことができた。 [1120(1)a. b]

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
1120(1)	図面及び建物面積を複数のソフトウェアで管理をしていたが、一元管理を可能とするシステムの導入が完了した。2019年度は導入されたシステムの適正運用により事務工数の削減を図る。

4. 根拠資料

根拠資料No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
1120(1)	a	2018年度管財課業務担当	B
1120(1)	b	2018年度業務スケジュール	B
1120(2)	c	キャンパス整備委員会議事録	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	管財部 施設課
--------	---------

基準 11 大学独自の評価項目

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
1120	管理運営組織および教育研究組織において、持続的に業務内容の点検を行っていますか。	(1) 管理運営組織（センター、事務部等）の設置目的や事務分掌等に則り、持続的に改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	B
		(2) 委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
1120(1) H30 年度 管財部施設課重点実施事項により目標設定されている。(1120(1)a) 各々の目標は会議体の開催、業務分担表の作成、更新で随時効果の検証を行った。また、予算スキルアップは課内勉強会の開催、外部講習会への参加を積極的に行い、その適切性を確認している。	
1120(2) 施設課が主管している委員会は以下の通り。 ①省エネルギー委員会 年1回開催 ②省エネルギー推進委員会 年2回開催 ③防火・防災管理委員会 年1回開催 ④防災対策協議会 年6回開催 計画通り開催され、議事録は概ね作成され、適切に運営されている。(1120(2)b)	
長所・特色 < 箇条書き > *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 1120(1)	施設課業務を各担当別に具体的項目にて役割を指定し明確化を図った。(1120(1)c)
項目 No. 1120(2)	委員会下部組織として、日常的にエネルギーを監視する組織として省エネルギーWGを設置しデータの管理・検証、改善活動を行っている。(1120(2)d)
課題事項 < 箇条書き > *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 1120(1)	工事依頼→発注→完了検査までの状況把握が不明確
項目 No. 1120(2)	各委員会の議事録の確実な作成とフォロー

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組	*成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない
1120(1)	情報基盤課が加わり、役割分担の整理を行った。また、「施設・設備等整備申請書」も更新し情報共有と役割の明確化を実施。施設課内は予算執行までの手順・役割分担を明確化すると共に、システム導入に取り組んでいる。
1120(2)	担当委員会は適切に開催され、改善された。一部議事録の不備があるので、引き続きフォローしていく。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
1120(1)	事業計画システムの導入と確実な運用の実施
1120(2)	委員会開催時のペーパーレス化の実施

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
1120(1)	a	H30 年度 管財部施設課重点実施事項	A
1120(2)	b	省エネルギー委員会記録、省エネルギー推進委員会記録、防火・防災管理委員会記録、防災対策協議会記録	B
1120(1)	c	施設課業務担当一覧	A
1120(2)	d	省エネルギー-WG 記録	B

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	管財部 購買課
--------	---------

基準 11 大学独自の評価項目

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
1120	管理運営組織および教育研究組織において、継続的に業務内容の点検を行っていますか。	(1) 管理運営組織（センター、事務部等）の設置目的や事務分掌等に則り、継続的に改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	A
		(2) 委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
1120(1)：事務分掌に則り業務を実施している。業務分担については毎年度「課内業務分担表」を作成し、課員に周知している。年度重点目標については、前年度に部内で決定した目標内容を、当該年度初回の週例会にて事業計画当初予算表を基に各担当者として情報共有を行い内容の確認を行っている。	
長所・特色 <箇条書き> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No.1120(1)	目標値の進捗具合を確認するため毎週「週例会」を実施している。
項目 No.	
課題事項 <箇条書き> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No.1120(1)	週例会での資料において目標値の進捗具合を定量的に示すようにする。
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない
1120(1)：「週例会」では、報告事項だけでなく検討・議論を積極的に実施する場として活用するようになった。また、固定資産の移動(廃棄・返納・移管等)に関して、年度末年始に多数の物件移動が発生するため担当者だけでは事務処理が追いつかない現状がある。それを受けて、今年度は全課員に向けた勉強会を実施し、簡潔な業務フローチャートを作成し担当者以外の課員も物件移動の事務処理を行える体制作りを行った。1120(a)

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
No.1120(1)	週例会で固定資産の物件移動に関する勉強会を実施し、各人の知識習得を行う。

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
No.1120	a	物件移動に関する業務フローチャート	B

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	管財部情報基盤課
--------	----------

基準 11 大学独自の評価項目

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
1120	管理運営組織および教育研究組織において、持続的に業務内容の点検を行っていますか。	(1) 管理運営組織（センター、事務部等）の設置目的や事務分掌等に則り、持続的に改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	B
		(2) 委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
1120(1)：事務分掌に則り業務を遂行している。週例会等で業務報告を行い、情報共有することに努めている。報告内容は、適宜サイボウズ上に記録も残している。[1120a]	
1120(2)：2018 年度から「学校法人中部大学情報セキュリティ委員会」が発足し、本課が事務局となっている。2018 年度は1回のみで開催だったが、議事録も作成され適切に運営されている。[1120b]	
長所・特色 << 箇条書き >> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 1120(1)	毎週実施の週例会で、各人の前週の振り返りと今週の予定を確認し、情報共有を行っている。課としての方針を決めている。
項目 No.	
課題事項 << 箇条書き >> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 1120(1)	単なる報告だけではなく、課員の議論および育成の場としたい。
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

< 改善・向上の進捗状況 >

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
1120(1)：2018 年度から部門目標を定め、個人の業務目標にも反映させている。[1120c]	

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
1120(1)	2019 年度も部門目標を作成し、年度末にその結果を検証する。

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
1120(1)	a	週例会記録（サイボウズ利用）	B
1120(1)	c	2018 年度情報基盤課 部門目標	B
1120(2)	b	「第 1 回学校法人中部大学情報セキュリティ委員会」議事録	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管